

# 降誕前節第1主日・待降節第4主日・アドベント(紫・白) クリスマス礼拝

(教会学校との合同礼拝)

2025年12月21日 10時20分～

司式:

奏楽:

## 《神の招き》

前 奏 『高き天より我は来たり』 J. G. ヴァルター  
灯火入堂 アコライト:教会学校  
招 詞 ゼファニヤ書3章14節  
賛 美 歌 2 6 8

## 《神の言葉》

祈 禱 アドベントの祈り  
聖 書 サムエル記上2章1～2節 (旧約 413 頁)  
ルカによる福音書1章46～55節 (新約 100 頁)  
子ども説教・教会学校奉唱『星が光るクリスマス』  
交読詩編 詩編98編1～9節 (115 頁)  
賛 美 歌 2 5 9  
説 教 「クリスマス之歌をうたおう」 八木浩史牧師  
祈 禱  
賛 美 歌 2 7 1

## 《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条  
転 会 式 5 4 2  
洗 礼 6 7  
献 金  
祈 禱 献金当番  
主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)  
聖 餐 8 1 配餐:

## 《派 遣》

頌 栄 3 9 - 6  
祝 福  
報 告  
後 奏

## 「クリスマス之歌をうたおう」

『サムエル記上』では、「ハンナの祈り」が記されています。不妊であったハンナは、主の宮で泣きながら切実な祈りをささげました。すると神はその願いを聴き入れてくださり、ハンナは男の子、サムエルを授かります。サムエルが乳離れした時、ハンナは主の宮にサムエルを連れて行き、祭司エリに委ねてサムエルを神に献げたのでした。その時にハンナは主に感謝して祈ります。

「私の心は主にあって喜び／私の角は主によって高く上げられます」と。サムエルは神に仕える者として成長し、やがてサウルやダビデに油を注ぎ、「油注がれた者(メシア)」として、王に就任させる働きをします。

『ルカによる福音書』の「マリアの賛歌」は「ハンナの祈り」を元にした賛歌であると言われます。不妊であったハンナとは対照的に、マリアは処女であったのに子を宿しました。しかしいずれも神による奇跡です。マリアは寒村ナザレに住み、貧しい大工のヨセフと婚約中の女性であり、当時のユダヤにおいては軽視されていた存在でした。しかし神は人が重視しないような人に目を留められ、大きな働きに用いられるのです。世の人々から軽視され忘れられたような人、悩みを抱えている人、希望を見失っている人、孤独な人、自信を失っている人、生きることに脅えている人・・・その人自身も、自分を取るに足らない者だと思っていることでしょう。しかし神はそのような人にも愛を注ぎ、幸いな者とするために、神の独り子である主イエス・キリストを送って、救ってくださいます。さあ共にクリスマス之歌をうたいましょう！